

教育研究業績書

所属	職名	氏名	学位
現代文化学部文化コミュニケーション学科 兼文化言語学部文化言語学科	教授	柳田 紀代子	修士
I 教育活動			
教育実践上の主な実績	年月日	概 要	
(1) 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む） ア地方自治体や企業との連携協力によるフィールドワークの実施 イ理解しやすいレジュメの作成とアクティブラーニングを重視した授業 ウ実務経験を元にした現場感覚を身につける授業	令和2年4月～ 現在まで	<p>ア熊本県との連携協力により「くまモン」について学ぶ科目等、地方自治体や民間企業、各種団体等と協働したプログラムを実施している。熊本地震からの復興や過疎地域における地域活性化等、熊本県独自あるいは日本全体に共通する課題を設定した上で、グループワークやフィールドワークを通じて、観光や地域づくりに必要な基礎を学べるよう工夫をしている。</p> <p>イ担当科目については、毎回の授業で理解しやすいようパワーポイントでレジュメを作成している。上記自治体や企業等にも資料を提供いただき、具体的な実践事例を学べる工夫をしている。また、資料の読み込みや動画視聴を行った上でグループディスカッションを行う等、自ら考えることを重視したアクティブラーニングを実施している。</p> <p>ウ観光や地域づくりを始めとした行政現場（熊本県庁）や観光施設（ホテル）での実務経験に基づき、観光や地域づくりの実例や熊本県の取組みなどについて解説し、具体的な政策を学べ現場感覚を身につけられるよう工夫をしている。</p>	
(2) 作成した教科書・教材・参考書 ア作成した教材	令和2年4月～ 現在まで	<p>ア担当科目については、毎回の授業で理解しやすいようパワーポイントでレジュメを作成している。上記自治体や企業等にも資料を提供いただき、具体的な実践事例を学べる工夫をしている。</p>	
(3) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			
(4) 実務の経験を有する者についての特記事項 ア 講演会等における講師等			
(ア) 全国フットパスサミットin美里においてパネリストとして登壇	平成25年11月	フットパスについて、地域活性化策及び女性の視点からの魅力について語る	
(イ) フランスジャパンエキスポにおける講演	平成28年6月	地震後の熊本の状況とくまモンの活動について講演	
(ウ) 九州地区高等学校教育振興会総会における記念講演	平成28年6月	くまモンのプロモーション戦略について講演	
(エ) 東京都ものづくり・匠の技の祭典2016における記念講演	平成28年8月	熊本県のブランド戦略について講演	
(オ) 熊本県立大学総合管理学部講義	平成28年8月	くまモンのプロモーション戦略について講義	
(カ) 熊本県生涯学習推進センター くまもと県民カレッジ経済コースの講義	平成28年10月	”あれ”が与えた影響は～特色を活かした熊本の経済効果～ くまモンのもたらした経済効果について講義	
(キ) 日本設備設計事務所協会九州ブロック熊本大会での講演	平成28年11月	くまモンのプロモーション戦略について講演	
(ク) パリ熊本県人会での講演	平成28年11月	熊本地震からの復旧・復興について講演	
(ケ) 日本航空九州ブロック支店長会議における講演	平成28年12月	くまモンのプロモーション戦略についての講演	
(コ) 台湾台北国際動漫節における記念講演	平成29年2月	くまモンのメディア戦略について講演	
(ク) 清香会代議員会における記念講話	平成29年3月	くまモンの秘密について講話	

II 研究活動					
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	編著・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
(協同研究) 山間地の集落機能維持システム構築のための政策研究	協同研究	平成21年3月	熊本大学政策研究創刊号(政策創造研究センター)に掲載	研究代表者：山中進(熊本学園大学教授、熊本大学名誉教授)共同研究者：上野真也(熊本大学政策創造研究教育センター教授)、柿本竜治(熊本大学政策創造研究教育センター准教授)、円山琢也(同前)、河上洋子(同前)、協同研究者：鈴木康夫(東海大学熊本教養教育センター教授)他13名	
(学術論文) 地域における「新しい公共」と協働型ガバナンス	—	平成22年1月	修士論文		
(学会発表) 地域における「新しい公共」と協働型ガバナンス～熊本県の地域の縁がわづくりを事例に～	—	平成22年6月	日本公共政策学会 2011 (北海学園大学：札幌)		
(外部資金導入実績)					
(その他) 復旦大学との研究交流及び中国短期調査研究プログラム2010	報告	平成21年1月	熊本大学大学院報告書に掲載		
「くまモン」をフックとした熊本県のブランド戦略について	発表	平成30年11月	熊本大学大学院「地方自治研究会」		
新型コロナ影響下における観光振興のあり方について	発表	令和2年6月	熊本大学大学院「地方自治研究会」		
III 学会等及び社会における主な活動					
平成25年6月～27年3月	宇城地域フットパス推進会議座長				
平成25年6月～27年3月	宇土の厳選お土産品選定委員会委員長(宇土市観光物産協会)				
平成25年7月～26年3月	三角西港シンボルマーク選定委員会委員(宇城市)				
平成29年6月～令和元年6月	熊本県社会福祉事業団評議員				
平成29年6月～令和元年6月	熊本県肢体不自由児協会理事兼副会長				
令和2年5月～現在	公益財団法人ほしのわ選考委員				
令和2年8月～現在	熊本県環境影響評価審査会委員				